【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公開番号】特開2015-64888(P2015-64888A)
【公開日】平成27年4月9日(2015.4.9)
【年通号数】公開・登録公報2015-023
【出願番号】特願2014-224706(P2014-224706)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ　50/10　　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ　50/10

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月5日(2015.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置において、
電子デバイスを識別するデバイス識別手段と、
前記デバイス識別手段に結合され、前記電子デバイスを自動的に検査するデバイス検査手段と、
前記デバイス検査手段に結合され、前記電子デバイスに対する補償価値を決定するデバイス評価手段とを具備し、
前記デバイス検査手段は、前記電子デバイスに電気的な接続を提供するケーブルコネクタを備え、
前記装置は、前記電子デバイスへの取り付けのために、前記ケーブルコネクタをユーザに提供し、
前記装置は、前記ユーザが前記電子デバイスにアクセスするのを防いでいる間に、前記ケーブルコネクタを前記電子デバイスから取り外す装置。
【請求項２】
前記デバイス識別手段は、前記電子デバイスのブランドおよびモデルを選択する対話式データ入力手段を備える請求項１記載の装置。
【請求項３】
前記デバイス検査手段は、前記電子デバイスのイメージを取り込むカメラを備える請求項１記載の装置。
【請求項４】
前記装置は、前記イメージを使用して、前記電子デバイスの表面の状態格付けを決定する請求項３記載の装置。
【請求項５】
前記装置は、前記イメージを使用して、前記電子デバイスを識別する請求項３記載の装置。
【請求項６】
前記装置は、前記ケーブルコネクタを使用して、前記電子デバイスの操作性を決定する請求項１記載の装置。
【請求項７】

前記デバイス検査手段は、複数のケーブルコネクタを備える請求項１記載の装置。
【請求項８】
前記装置は、前記電子デバイスの識別に基づいて、前記電子デバイスに関係付けられているケーブルコネクタを識別する請求項７記載の装置。
【請求項９】
前記電子デバイスは移動体電話機である請求項１記載の装置。
【請求項１０】
前記補償価値は、商品券、下取り価値、現金、およびクーポンのうちの１つの形態である請求項１記載の装置。
【請求項１１】
方法において、
装置の検査エリアにおいて、ユーザから電子デバイスを受け取ることと、
前記装置のコンピュータにより、前記ユーザに命令して、ケーブルコネクタを前記電子デバイスに取り付けさせることと、
前記装置のコンピュータにより、前記電子デバイスを自動的に識別することと、
前記装置のコンピュータにより、前記電子デバイスに対する補償価値を決定することと、
前記装置のコンピュータにより、前記ユーザに前記補償価値を提案することと、
前記装置のコンピュータにおいて、前記補償価値の受け入れを前記ユーザから受け取ることと、
前記装置のコンピュータにより、前記検査エリアをロックして、前記ユーザによる前記電子デバイスへのさらなるアクセスを防いでいる間に、前記ケーブルコネクタを前記電子デバイスから取り外すこととを含む方法。
【請求項１２】
前記提案した補償価値が受け入れられたときに、前記装置中に前記電子デバイスを保管することをさらに含む請求項１１記載の方法。
【請求項１３】
前記装置のコンピュータにより、前記電子デバイスを検査して、前記電子デバイスの表面の状態格付けを決定することをさらに含む請求項１１記載の方法。
【請求項１４】
前記装置のコンピュータにより、前記電子デバイスのイメージを取り込むことと、
前記装置のコンピュータにより、前記イメージを基準イメージと比較して、前記電子デバイスの表面の状態格付けを決定することとをさらに含む請求項１１記載の方法。
【請求項１５】
前記装置のコンピュータにより、前記電子デバイスのイメージを取り込むことと、
前記装置のコンピュータにより、前記イメージを使用して、前記電子デバイスを識別することとをさらに含む請求項１１記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
この実施形態の１つの側面では、リサイクリングキオスク１００は、シール可能な移動体電話機投入領域１０６と、紙幣およびバウチャーのアクセプター／ディスペンサー１０７と、カードリーダー１０４と、再生されることになる移動体電話機のための移動体電話機コレクター１１２と、リサイクルされることになる移動体電話機に対する移動体電話機受口（クイックドロップ）１０８と、（示していない）計算および通信設備とを備えている。遠隔コンピュータからの結合および遠隔コンピュータへの結合は、ワイヤードＬＡＮを、ワイヤレスＬＡＮを、あるいは、セルラまたは他の何らかのプロプライエタリ通信シ

ステムを、介するインターネットのような通信ネットワークに対する単一結合であってもよい。キオスク１００は、デバイス内に、処理手段またはコンピュータを備えていてもよい。これは、Ｌｉｎｕｘ（登録商標）またはＭＡＣ ＯＳ（登録商標）のような何らかのオペレーティングシステムを動作させる、標準的なＰＣ、または、他のタイプの組み込みコンピュータであってもよい。システムは、実行可能なアプリケーションと、テストソフトウェアと、データベースと、リサイクリングキオスクを動作するのに必要とされる他のソフトウェアとを記憶するだろう標準的なハードディスクドライブである、記憶デバイスを備えていてもよい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５２】
ステップ４１２Ａにおいて、ユーザには、電話機を消去する機会が与えられる。ステップ４１２Ｂおよび図５Ｊにおいて、ユーザに新しい価値が提示される。いくつかのケースでは、新しい価値はより高いものであるが、他のケースでは、より低くなることもあり、すべてはユーザにより提供された応答に依存する。この時間の間に、システムは、検査ビンの中に内蔵されているカメラを介して、電話機の自動化された検査を行ってもよい。他の例では、電話機の自動化された電子解析を達成することができるように、ユーザは、電話機をコネクタに差し込むように求められることがある。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
ステップ４１２Ｂにおいてユーザが新しい価値を受け入れた場合には、または、ステップ４０９においてユーザが受け入れた場合には、システムは、ステップ４１３においてユーザから個人情報を収集するように進む。キオスクが配置されている小売店に関係付けられている顧客ロイヤルティー番号を入力することにより、クレジット／デビットカードをマシンに通すことにより、運転免許証をマシンに通すことにより、または、図５Ｋおよび図５Ｌで示されているような、キオスクのタッチスクリーン上に提示されているキーボードを使用しての手動入力により、これを達成することができる。

【手続補正５】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】全図
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１】

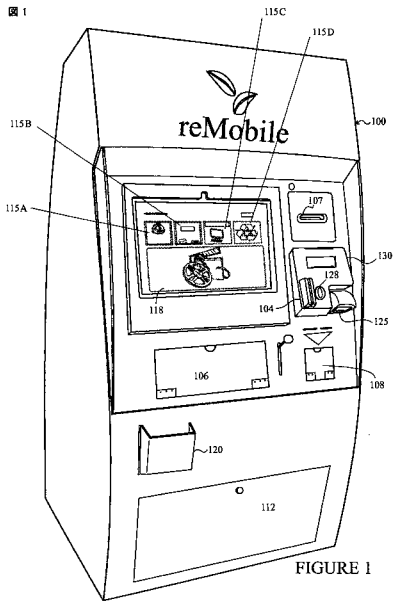


FIGURE 1

【図２】

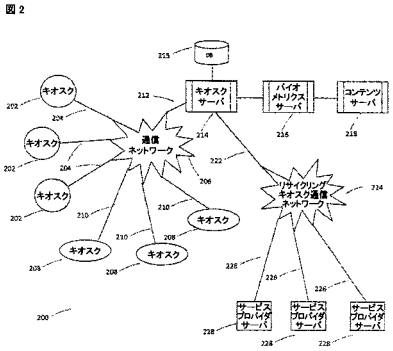


FIG. 2

【図３】

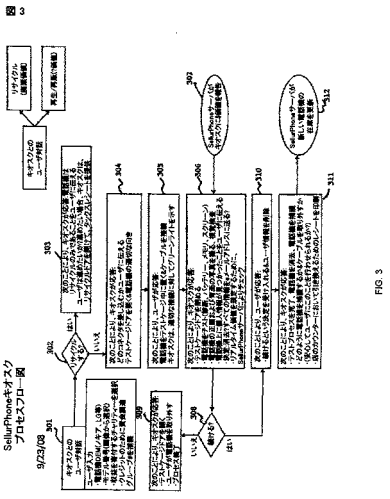


FIG. 3

【図４】

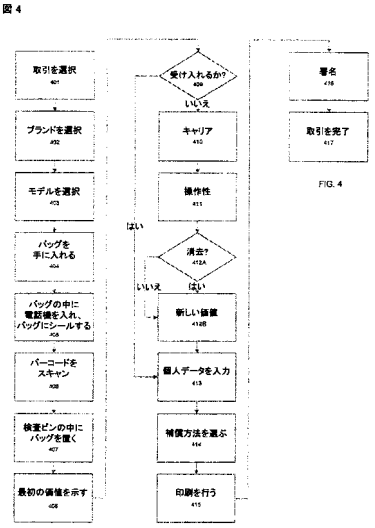


FIG. 4

【図５Ａ】

図 5A

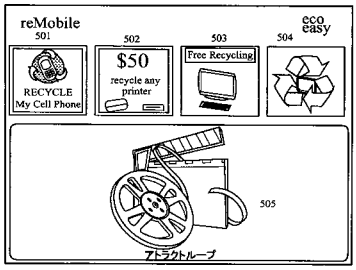


FIGURE 5A

【図５Ｂ】

図 5B

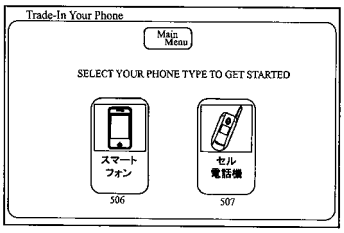


FIGURE 5B

【図５Ｃ】

図 5C

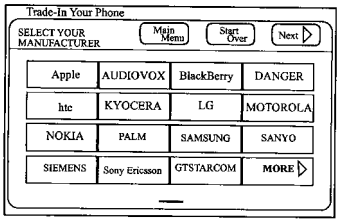


FIGURE 5C

【図５Ｄ】

図 5D

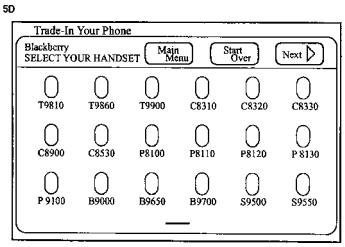


FIGURE 5D

【図５Ｅ】

図 5E

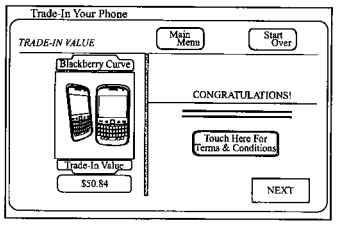


FIGURE 5E

【図５Ｆ】

図 5F

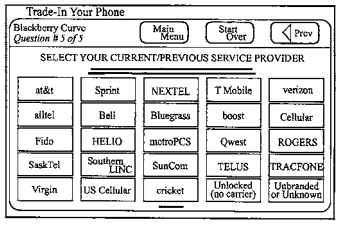


FIGURE 5F

【図５Ｇ】

図 5G

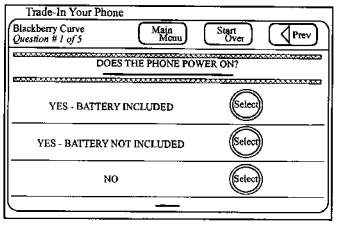


FIGURE 5G

【図５Ｈ】

図 5H

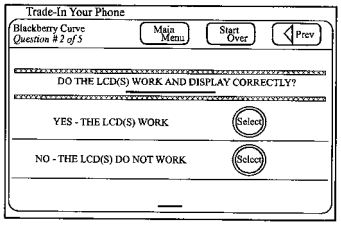


FIGURE 5H

【図５Ｉ】

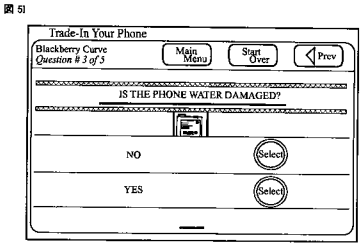


FIGURE 5I

【図５Ｊ】

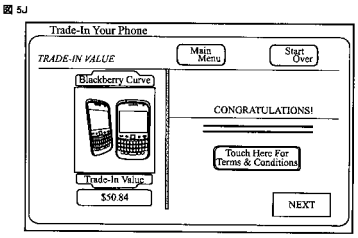


FIGURE 5J

【図５Ｋ】

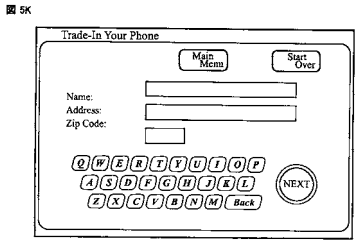


FIGURE 5K

【図５Ｌ】

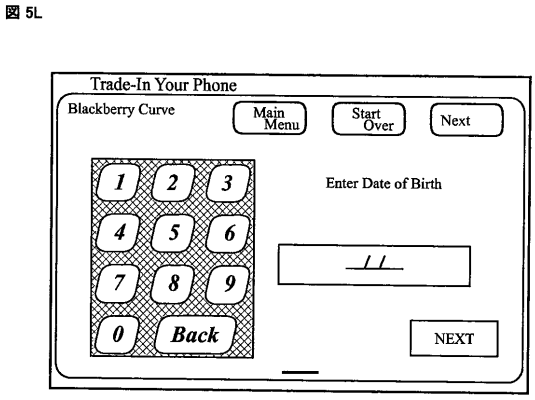


FIGURE 5L

【図６】

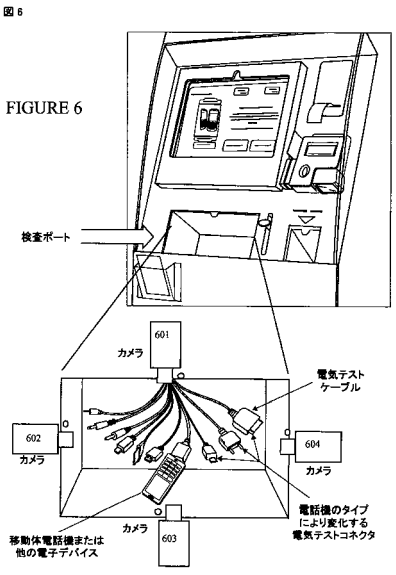


FIGURE 6

【図７】

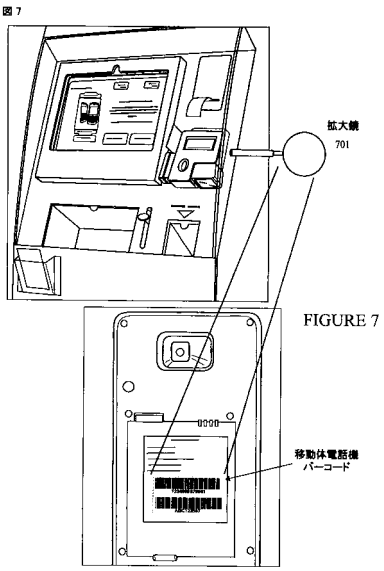


FIGURE 7